

# ねりまつうしん

ねんあきごう  
2024年秋号

たげん ごじょうほう しえんいん えいごたんとう  
多言語情報支援員(英語担当)

いしだ あつこ  
石田 厚子

## あき い 秋のけはひ

ことし げんじものがたり さっか むらさきしきぶ しゅじんこう てれびどらま にんき  
今年、「源氏物語」の作家、紫式部を主人公にした、テレビドラマが人気です。

げんじものがたり かんせい にほん いちばんふる ちょうへんしょうせつ  
「源氏物語」は今から約1000年前に完成したとされる日本で一番古い長編小説で、

せんねん よ さくひん しゅじんこう かがや うつく さいのう めぐ  
千年にわたり、読まれている作品です。主人公は輝くように美しく才能にも恵まれた

おうじ ひかるげんじ おさな な うつく はは おもかげ もと  
皇子<sup>1</sup>、光源氏です。幼いころに亡くなった美しい母の面影を求めて、たくさんの

じょせい れんあい いま まんが しゅじんこう ゆうめい  
女性と恋愛をします。今では、漫画の主人公としても有名ですね。

さっか むらさきしきぶ ちょうてい はたら によかん  
作家の紫式部は朝廷<sup>2</sup>で働いていた女官<sup>3</sup>で、

おうちょうぶんか はってん じだい きぞくしゃかい うつく  
王朝文化<sup>4</sup>が発展した時代の貴族社会を美しい

ぶんしょう か せんねん まえ むらさきしきぶ  
文章で書きました。千年も前に、紫式部がこのよ

うつく ものがたり か とうじ しきじりつ  
うな美しい物語を書いていたのは、当時の識字率<sup>5</sup>な



1 おうじ てんのう むすこ  
皇子:天皇の息子

2 ちょうてい てんのう きぞく せいじ おこな ぼしよ  
朝廷:天皇や貴族が政治を行う場所やしくみ

3 によかん ちょうてい はたら じょせい  
女官:朝廷で働く女性

4 おうちょうぶんか へいあんじだい おも きぞくしゃかい はなひら にほんてきとくしよく ぶんか  
王朝文化:平安時代、主に貴族社会で花開いた日本の特色をもつ文化

5 しきじりつ もじ よ か ひと わりあい  
識字率:文字の読み書きができる人の割合

かんが おどろ だんせい ちゆうしん つか かんぶん じざい よ げんがつき  
どを考 えると 驚 きます。男 性を 中 心に 使 われて いた 漢 文 も 自 在 に 読 み、弦 樂 器 の

めいじん かんじょう りかい さんじゅう  
「そう」の 名 人 でも あった よう です。「も の の あ わ れ」(し み じ み し た 感 情)を 理 解 し、「三 十

ろ っ か せ ん ひ と り  
六 歌 仙<sup>6</sup>の 1 人 です。

むらさきしきぶ げんじものがたり ほか わか きゆうちゆう ようす につき てがみ か  
紫 式 部 は「源 氏 物 語」の 他 に も、た く さ ん の 和 歌 や、宮 中<sup>7</sup>の 様 子 を 日 記 と 手 紙 で 書

むらさきしきぶにつき のこ むらさきしきぶにつき あき い ゆうめい  
いた「紫 式 部 日 記」を 残 して います。「紫 式 部 日 記」に「秋 の け は ひ」とい う 有 名 な

いちぶん  
一 文 が あり ます。

あき けはい ふか つちみかどてい ようす ことば かた  
秋 の 気 配 が 深 ま る に つ れ て、こ の 土 御 門 邸 の 様 子 は、言 葉 で は 語 り つ く せ ない ほ ど

すば おもむき  
の 素 晴 ら しい 趣<sup>8</sup>に つ つ ま れ て いる。

いけ きぎ こずえ やりみず くさ いちめん うつく いろ  
池 の ま わ り の 木 々 の 梢<sup>9</sup>、鑑 水<sup>10</sup>の ほ と り の 草 む ら、そ れ ぞ れ が 一 面 に 美 し く 色 づ

そらいちめん ようす じつ ふぜい  
き、あ た り の 空 一 面 の 様 子 も、実 に あ ざ や か な 風 情<sup>11</sup>が あり ます。

ひ た ふだん ちゅうぐう さま あんざんきがん みどきょう  
そ れ ら に、そ の ま ま 引 き 立 て ら れ て、不 断<sup>12</sup>の(中 宮<sup>13</sup>様 の 安 産 祈 願 の た め の)御 読 経

こえごえ ころ  
の 声 々 が、い っ そ う 心 に し み いる。

すこ すず かせ けはい なか た ま き く おと よ  
少 し ず つ、涼 し く な る 風 の 気 配 の 中、絶 え 間 な く 聞 こ え て 来 る せ せ ら ぎ の 音 は、夜

どお き つづ かせ みず くべつ げんだいごやく  
通 し 聞 こ え 続 け て、風 と 水 と の 区 別 も つ か な い(現 代 語 訳)

6 三十六歌仙:平安時代の和歌の名人36人

7 宮中:天皇が住むところの中

8 趣:あじわい。おもしろみ。

9 梢:木の幹や枝の先。木の先端

10 鑑水:庭に水を引き入れて作った流れ

11 風情:独特の趣。あじわい。

12 不断:絶え間ないこと。途切れることのないこと

13 中宮:天皇の正妻



いま ちが いどうしゅだん  
今と違って、移動手段もほとんどなく、

くうちょう じだい おも つうしんしゅだん  
空調<sup>14</sup>もない時代。主な通信手段は、手

かぎ じだい ひとびと  
紙に限られていた時代だからこそ、人々

しぜん ひと ところ びんかん かん ちから  
の、自然や人の心を敏感に感じる力

みが あ し  
が、磨き上げられていったのかも知れませ

かぎ くわかん なか じぶん ごかん  
ん。限られた空間の中で、自分の五感<sup>15</sup>を

と す あき けはい ところいっぱい かん むらさきしきぶ かんせい め みは  
研ぎ澄ませて、秋の気配を心一杯に感じていた紫式部の感性<sup>16</sup>には目を見張るもの

どうじ いっしゅ せんぼう おも わ  
があります。と同時に、一種の羨望<sup>17</sup>の思いも湧いてきます。

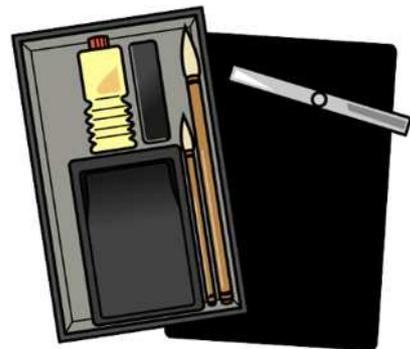
いま い わたし すまーとふおん お  
今を生きる私たちも、たまには、スマートフォンを置い

ふか いき す こ すずり みず すこ そそ  
て、深く息を吸い込み、硯<sup>18</sup>に水を少し注いで、

すみ かお たの すみ す つき み ひと  
墨の香りを楽しみながら、墨を磨り、月を見て、人や

しぜん へんか おも ふで ぶん かく  
自然の変化を思い、ゆっくり筆をとって文を書く、そん

ぜいたく じかん も おも  
な贅沢な時間を持ちたいと思います。



<sup>14</sup> 空調: 室内の空気の温度・湿度などを調整すること。

<sup>15</sup> 五感: 視覚(みる)、聴覚(きく)、味覚(味わう)、嗅覚(嗅ぐ)、触覚(皮膚で感じる)の5つの感覚のこと

<sup>16</sup> 感性: 物事に感じる能力

<sup>17</sup> 羨望: うらやましく思うこと

<sup>18</sup> 硯: 石などで作った、墨を磨る道具

## じぎょうすいしんがかり 事業推進係からのお知らせ

### ぶんかこうりゅう じょうほう こ な りょう <文化交流ひろば情報コーナーをご利用ください>

にほんごがくしゅう じょうほう がいこくじん せいかつじょうほう たげんご ていきょう  
日本語学習の情報や外国人のための生活情報などを多言語により提供します。

ぼしよ ねりまくひかり おか  
【場所】 練馬区光が丘3-1-1

でんわ  
【電話】 03-3975-1252

かいせつにちじ へいじつ ごぜん じ ごご じ ど にち しゆく ごご じ じ  
【開設日時】 平日（午前10時～午後1時）、土・日・祝（午後1時～4時）

ねんまつねんし ぶんかこうりゅう きゅうかんび のぞ  
※年末年始など「文化交流ひろば」休館日を除く

たいおうげんご えいご か もく ど ちゅうごくご すい きん にち かんこくご げつ  
【対応言語】 英語（火・木・土）、中国語（水・金・日）、韓国語（月）

たげんご と あ  
※その他の言語はお問い合わせください。

### がいこくごそうだんまどぐち りょう <外国語相談窓口をご利用ください>

ちいきしんこうかじぎょうすいしんがかり えいご ちゅうごくご かんこくご たがるごご にほんご  
地域振興課事業推進係では、英語・中国語・韓国語・タガログ語・日本語でいろ  
いろう いろいろ さまざまな相談ができます。電話での相談も受け付けます。

ぼしよ ちいきしんこうか くやくしよほんちようしゃ かい ねりまくとよたまきた  
【場所】 地域振興課（区役所本庁舎9階） 練馬区豊玉北6-12-1

でんわ  
【電話】 03-5984-4333

かいせつにちじ へいじつ ごご じ じ  
【開設日時】 平日（午後1時～5時）

たいおうげんご えいご げつ きん ちゅうごくご げつ きん かんこくご きん たがるごご げつ  
【対応言語】 英語：月～金、中国語：月～金、韓国語：金、タガログ語：月

たげんご と あ  
※その他の言語はお問い合わせください。

### にほんじん がいこくじん こうりゅう いべんと かいさい くわ <日本人と外国人が交流できるイベントなどを開催しています。詳しくはこちら>

くこうしき  
【区公式HP】 <https://www.city.nerima.tokyo.jp/gaikokunohitomuke/bunka.html>

こーど  
【QRコード】



ねりまくちいきしんこうかじぎょうすいしんがかり  
練馬区地域振興課事業推進係  
〒176-8501

ねりまくとよたまきた  
練馬区豊玉北6-12-1  
ねりまくやくしよほんちようしゃ かい  
練馬区役所本庁舎9階

でんわ  
電話03（5984）4333

e-mail:CHIIKI17@city.nerima.tokyo.jp

へんしゅう ぶんかこうりゅう  
編集：文化交流ひろば  
ひかり おか  
（光が丘3-1-1）

たげんごじょうほうしえんいん  
多言語情報支援員

いしだ あつこ えいごたんとう  
石田 厚子（英語担当）

なす きよみ ちゅうごくごたんとう  
奈須 清美（中国語担当）

よ おく かんこくごたんとう  
呂 佳玉（韓国語担当）